

議会だより とくのしま



第 190 号

平成 30 年 2 月 1 日

発行：徳之島町議会 編集：議会広報編集委員会 〒 891-7192 鹿児島県大島郡徳之島町亀津 7203
TEL 0997 (82) 1111 FAX 0997 (82) 1101



明けましておめでとうございます。本年も「町民のための議会」を目指し、積極的に議会活動を行って参ります。(議員一同)

第 4 回定例会

12 月 6 日～ 11 日

- | | |
|--------------------|------|
| ☆ 審議された案件と議決結果、決議 | 6 |
| ☆ 一般質問 (10 氏登壇) | 7～14 |
| ☆ 議会の動き・議会報告会・編集後記 | 14 |

12 月定例会で審議された案件と議決結果

案 件	議決結果
(議案)	
・徳之島町ふるさと留学センター設置条例の制定	原 案 可 決
・徳之島町保育の必要性の認定に関する条例の制定	原 案 可 決
・徳之島町誌編纂審議会条例の一部を改正する条例	原 案 可 決
・徳之島町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	原 案 可 決
・徳之島町文化財保護審議会条例の一部を改正する条例	原 案 可 決
・徳之島町郷土資料館の設定に関する条例の一部を改正する条例	原 案 可 決
・徳之島町飼い猫の適正な飼養及び管理に関する条例の一部を改正する条例	原 案 可 決
・平成 29 年度一般会計補正予算（第 4 号）	原 案 可 決
・平成 29 年度簡易水道事業特別会計補正予算（第 2 号）	原 案 可 決
・平成 29 年度国民健康保険特別会計補正予算（第 3 号）	原 案 可 決
・平成 29 年度農業集落排水事業特別会計補正予算（第 3 号）	原 案 可 決
・平成 29 年度介護保険事業特別会計補正予算（第 3 号）	原 案 可 決
・平成 29 年度公共下水道事業特別会計補正予算（第 3 号）	原 案 可 決
・平成 29 年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第 2 号）	原 案 可 決
・平成 29 年度水道事業会計補正予算（第 3 号）	原 案 可 決
(陳情)	
・「高レベル放射性廃棄物等の持ち込みを拒否する決議」の採択を求める陳情	採 択
・高レベル放射性廃棄物等の持ち込みを拒否する決議	原 案 可 決

高レベル放射性廃棄物等の持ち込みを拒否する決議

高レベル放射性廃棄物の最終処分場ができる可能性のある地域を示した日本地図「科学的特性マップ」が去る 7 月 28 日に公表され、火山や活断層が周囲になく、海岸から 20 キロの範囲にある該当地区は、全国で 900 自治体あり、奄美群島は、喜界島を除く全域が候補に挙げられたことから、島民は不安を感じている。

徳之島の北部は花崗岩の岩石が海岸線を囲み、南部はサンゴ礁の石灰岩等の土壌となっており、中央部はアマミノクロウサギの生息する広葉樹林の森のある、周囲 89.1 キロの自然豊かな島である。また、近年奄美群島は、生物多様性の地域として脚光を浴び徳之島も、国立公園の指定を受け、世界自然遺産登録も近いと言われている。

専門家によると「放射能が、人体に影響がないレベルまで下がるには、数億年から 10 万年かかる」とする見方があり、「放射性廃棄物の管理は地下 300 メートルの深層に埋める」などの現時点の処理方法だと、徳之島は全く適合しない地質と判断するものである。

また、台風の大規模化や「五十年に一度の大雨」の多発など、外海離島は、自然災害に身動きのできない状況であり、これ以上の負荷は考えられない。

島民は豊かな自然と向き合いながら農業や漁業、観光業で生計を立てており、放射性廃棄物を地下に埋めることは、末代の子孫のことを考えると到底許せない事案である。

よって、本議会は、「高レベル放射性廃棄物等の持ち込み」関連の事業で新たな負担を一方的に課すことがないように断固拒否するものである。

以上、決議する。

平成 29 年 12 月 11 日

徳之島町議会

いっばん質問

12月定例会には、10人の議員が登壇し、地域活性化対策、道路管理、農業政策、北部振興、子育て支援、教育行政など町政全般にわたり執行部の考えをたどりました。質問と答弁の要旨は次のとおりです。

集落維持に 助成金を



池山 富良 議員

整備など地域一丸となって取り組まないといけない。使い勝手のいい助成金として予算を組みたいと思う。

問 町の少子高齢化対策と各集落の維持が難しくなってきたが助成が出来るか。

愛郷心ある

青少年の育成を

答 幸野副町長
各集落の活性化と人材育成は重要で、都会にはない魅力を持った町づくりにつとめ、愛郷心のある青少年を育成することが、少子高齢化対策につながると思う。

予算化したい

答 高岡町長
集落の維持については、来年度に世界自然遺産登録を迎えるにあたり、不法投棄等の監視、道路等の

助成金を

役場の

駐車場対策は

問 役場の駐車場は雨天時や、会議等がある場合に混雑し一般住民の利用ができないことが多い、対策を伺う。

平成30年度に

課題解決

答 岡元総務課長
平成30年度に、南区側グリーンベルトに職員駐車場を整備し、土日・祭日には児童公園を利用する一般に開放して、利活用を図り役場の駐車場不足を解消したい。

人数増で 道路管理を

問 世界自然遺産を見越して県道・町道・農道・林道等の道路管理を人数を増やしてもするべきではないか。

年次的に 人員増を図る

答 岡元総務課長
それぞれの道路を、常時きれいに管理していくために、平成30年度に予算を増額するとともに今後の再任用職員については、道路管理員として再配置していく。



満車状態の役場裏駐車場

定例会の様子をインターネットで
ご覧いただけます

町のホームページから「議会中継」にアクセスしてください。
詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

☎ 8 2 - 1 1 1 1 (内線 331 番)

その他の質問
○庁舎建設について

建設予定施設の

内容は

徳田 進 議員



TMRセンターの恩恵は

問 東天城地区に建設予定の施設について具体的な場所・内容・目的を伺う。

答 TMRセンターは、畜産農家全体の為コストダウンを掲げスタートしたが、全農家に恩恵が行き渡っているか。

畜産農家への大きな支援

答 東農林水産課長 冬場の農繁期で忙しい時期や梅雨時期など草の取れない時期に、畜産農家がいつでも買いに行けるTMRセンターがあることが、畜産農家への大きな支援であり、また、町の畜産振興に繋がっている。

どう生かす観光資源

問 世界自然遺産登録も含め、北部地域の既存の資源や、新たに地区民から提案された景勝地をどう生かし、観光等に繋げていくのか伺う。

世界自然登録後の資源活用

答 幸田地域営業課長 自然を守りつつ、風景、文化、産業、暮らしたといった環境文化を継承しながら、地域との共存と発展を目指す。事業推進計画は地元から提案された既存観光地に優先順位をつけて事業推進に努める。

思いやりのある名称に

勇元 勝雄 議員



名称変更を 広域へ提案

問 人生終焉の場である「火葬場」という直接的な名称ではなく、もっと遺族の方に思いやりのある名称に変更することはできないか伺う。

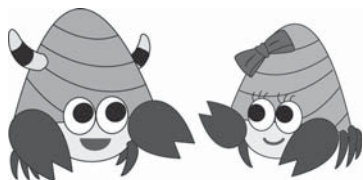
答 政田住民生活課長 現在、「火葬場」と称しているが、県内の公共団体において、「斎場等」と変更している場合が多い。今後は、遺族の方の感情等を鑑み、名称を「斎場等」に変更できないか、議員から提案があった旨、広域連合に提案したい。

経営モデル体型を確立

答 東農林水産課長 予定地は花徳小学校の裏で、事業内容は徳之島町営農研修ハウス（仮称）が2棟、育苗ハウスが1棟、農業用倉庫及び農業機械の整備を行い、目的として施設園芸農家の発掘や農業女子の育成を図り所得向上と経営モデル体型を確立する。



畜産振興に期待されるTMRセンター



思いやりのある名称に「入り口の案内板」

アンケート調査 はできないか

問 乳幼児医療費無償化の県下の状況を見て、町長はどのように考えるか、また、子育て世帯が子育て支援について、どのような要望があるのかアンケート調査はできないか伺う。

国・県と 歩調を合わせる

答 高岡町長
乳幼児医療費については、以前も答弁した通り、生活保護世帯・非課税世帯等社会的弱者については無料化を実施している。将来の医療制度の維持等考慮することが責務と考える。国や県と歩調を合わせていきたい。

子育て支援計画 で行う

答 豊島介護福祉課長
平成31年度中に次期子ども子育て支援事業計画の策定を行う。平成30年度に子育て世帯を対象に、保

育のニーズや子育て支援のサービスの利用状況や意向などを把握することを目的にアンケート調査を行う。

庁舎前の公用車 は駐車禁止に

問 役場庁舎前の駐車場は、公用車に占領され、町民の皆様に迷惑をかけている。庁舎前は公用車を駐車禁止にして町民の為に駐車場として確保できないか伺う。

公用車は緊急時 対応に必要

答 岡元総務課長
平成30年度に南区側グリーンベルトを、職員駐車場として整備する。公用車は、地震・津波・台風災害等、緊急対応が必要なので、役場裏に駐車場を確保して、課題解決したい。

その他の質問

- 県営畑総事業について
- 観光について
- 北部振興について
- 総合グラウンドへの道路整備について

合併60年の

評価と展望は

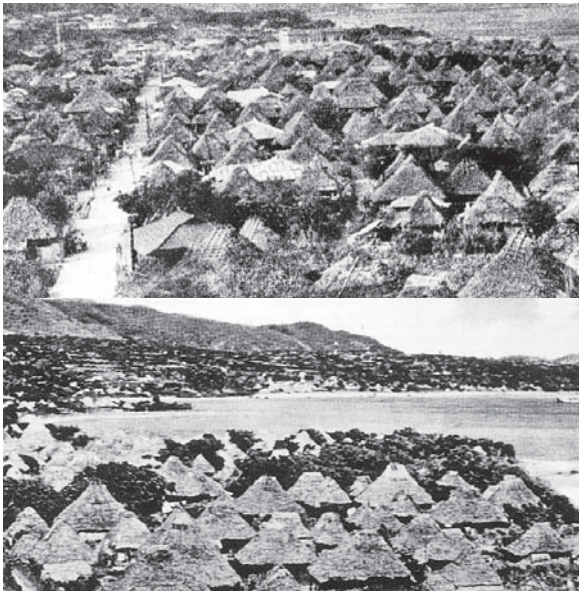
木原 良治 議員



東天城地区の 活性化が必要

問 昭和33年に東天城村と亀津町が合併してから、「平成30年」は、60周年の節目の年を迎える。この60年を振り返り合併の評価と課題、そして展望を問う。

答 高岡町長
合併については、時代背景から十分評価できる。現在は、地方交付税制度等時代が変化してきている。今後の合併は、当町の産業を考えると、行政の役割は大きく、公共事業、補助事業を活用した農業、漁



合併以前の亀津市街地（上）と母間集落（下）

業の一次産業の分野が重要であり合併により交付税が減ることを考えると、するべきでないと考えます。世界自然遺産登録を考えるにあ

たり東天城地区は島の宝であると誇りに思わなければならぬ。東天城地区の活性化が最重要課題だと考え

今日か明日か、 待たれる要望実現

幸 千恵子 議員



現在進行中

答 亀澤建設課長
地区別要望書一覧等により引継がれている。満

問 地域からの要望は防災上重要で住民は今日か明日かと待っているが、数年経っても音沙汰がない。職員異動時の引き継ぎや地域への経過報告は行われているか。4年ほど前から要望している満久里住宅横と、下久志集落の改善予定は。

久里住宅沿い道路は、県と協議中、今後県に申請書を提出し許可後に舗装整備予定。下久志集落鋭角カーブ箇所は、空地の木を伐採する方向で業者に依頼中。生活道路拡張は、寄付採納願い及び分筆登記後、予算確保次第対応。

是正すべき
「高落札率」

問 平成29年12月議会提出の入札執行落札率は、島内業者26件中97%台4件、98%台11件、99%台11件で全て97%以上。島外業者は6件すべて95%以下。高落札率は是正すれば、節減分をこどもの医療費や給食費の無料化実現に回せるかどうか。

答 高岡町長
設計価格は、規程の単価で算出しており適正な価格で落札していると考ええる。

来年度予算で
実現を

問 小学校卒業までの医療費無料化に必要な費用は平成28年度でいくら。給食センター運営費用は。こどもの健全な成長を願う町から子どもたちへの「社会保障」として、給食費（材料代）は無料化を。美農里館会計を特別会計に。3つの来年度実現を。

答 豊島介護福祉課長
平成28年度の乳幼児医療費助成金額が約720万円、課税世帯の子どもの医療費が約630万円、小学校卒業までにすると、単純に2倍し、約2,700万円が必要となるのではないかと思う。

昨年度
8,500万円

問 向井学校教育課長
給食センターの運営費については昨年度8,500万円ほどかかっている。また、給食費の無料化には、3,500円ほどの追加費用が必要となる。

答 岡元総務課長
法令で設置が義務付けられている特別会計以外は、効率的で透明性のあるものにしていくという予算統制が必要なので、現段階では考えていない。

健全なバレイシヨ
種子の供給を



保岡 盛寿 議員

問 近年、バレイシヨの生産意欲が高まっていくが、それに伴い種子が不足し、違法な種子が供給されている。その対策について伺う。

答 東農林水産課長
現在、生産地として守るために徳之島地域総合営農推進本部の園芸部会をはじめとする、様々な組織において防止策を検討し、栽培農家への通知、徹底を図っている。

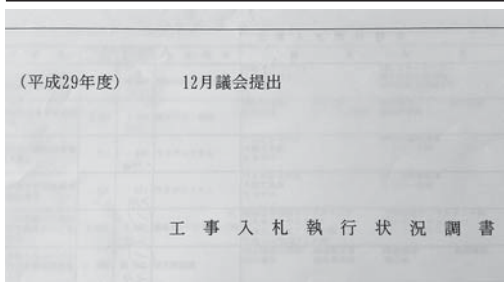
防止策を検討

適正な廃プラスチック
チック処理を

問 毎年、※農業用廃プラスチックの回収を行っているが、回収量が少量だと思われる。今後の対策について伺う。

答 東農林水産課長
廃プラスチック協議会の28団体が共通理解を深めて、今後とも使用者に対してあらゆる場を活用して、啓発活動を行うことにより、回収率の向上に繋がるものだと考える。

答 東農林水産課長
※農業用廃プラスチックとは、使用済みビニールやマルチ、肥料袋、育苗箱など農業を行う上で使用したプラスチックのこと



議会に報告される「工事入札執行状況調査」

議会に対する質問や意見、または議会だよりに対する意見や希望がございましたら、議会事務局までご連絡ください。
徳之島町議会事務局
☎ 82-1111 (内線331番)



豊作を願うバレイシヨ



東中60周年記念 事業へ支援を

問 学校再編検討委員会での話し合いの経緯と今後の流れについて伺う。また、来年の東天城中学校60周年記念事業への支援が出来ないか伺う。

中身を精査して 対応

答 向井学校教育課長
学校再編については、今年度中に方向性が決まる予定である。また、東天城中学校が記念事業を開催するという事で、様々な要望も上がってきている。中身を精査して対応を考えている。



地域観光資源の 活用を



是枝 孝太郎 議員

推進協議会で事業推進を実施する。

観光交流施設 として活用

答 住田企画課長
観光客と集落との交流施設として、ゲストハウス等での活用が考えられるが、管理運営主体の立ち上げやノウハウ取得など、行政支援の在り方を検討していく必要がある。

聞き取りを行い 今後の振興へ

答 幸田地域営業課長
徳之島町の観光で観光推進計画マスタープランについては、観光地周辺整備を地元の提案や観光事業者等への聞き取りを行い、今後の観光振興に繋げる。

ソフト事業に関しては、三町で行う徳之島三町観光

学校教育の 充実を

問 徳之島町下久志分校の利活用を今後どの様に考えているか。また、学校給食において低所得者に対して給食費の助成制度を行う事が出来ないか伺う。

現在、下久志分校の跡地利用について、要望が上がってきている。再編計画の結果を踏まえ、教育的な施設または、地元の活性化に繋がる施設への活用を図っていきたい。

地元の活性化に 繋がる活用を

低所得者に 対しては必要

農業青年基金 創設を

答 向井学校教育課長
現在、下久志分校の跡地利用について、要望が上がってきている。再編計画の結果を踏まえ、教育的な施設または、地元の活性化に繋がる施設への活用を図っていきたい。

答 高岡町長
給食費の低所得者に対しての助成制度は実施していかねばならないと考える。

問 農業青年※4Hクラブに対する位置づけが必要。町として農業青年4Hクラブに対する優遇政策が必要であり農業青年基金の創設は出来ないか伺う。

重点的に支援

答 東農林水産課長
近年、農業の後継者不足が問題視される中、農業青年4Hクラブに加入して、意欲的に営農を行っているクラブ員に対しては、重点的に支援をしていかなければならないと考える。

4Hクラブの研修会



※4Hクラブとは、農村生活の改善、農業技術の改良などを目的とする農村青年の組織で、4Hはhead(頭) hand(手) heart(心) health(健康)の頭文字をとったもの

○その他の質問
社会資本整備について

認定こども園を 北部へ



松田 太志 議員

問

北部地区の保育園、幼稚園の建物が老朽化する中、新しい制度である認定こども園を北部振興として取り組むべきと考えますが、今後の計画は。

重要

答 向井学校教育課長
認定こども園は、幼稚園と保育所の機能や特徴を併せ持つ施設である。北部振興の一環として、また、

北部地区に

建設が必要

答

豊島介護福祉課長
母園保育所の老朽化や、立地条件、1歳児からの預け入れしか出来ない現状や、幼稚園の利用状況から見ると、北部地区に0歳から預けられて、定員80名以上の認定こども園の建設が必要と感じる。

将来は必要となる

答 高岡町長
国の政策が保育園の無料化に進んでいる現状を考えると、誰もが入れる保育園となっていくことと考える。幼児教育と養護が今後垣根がなくなってくる

ことが予想され、幼児教育は重要。将来認定こども園は必要となると考える。

5年後に向けて

問

去る9月に東北宮城県にて開催された「全国和牛能力共進会」において、鹿児島県が団体優勝を成し遂げた。5年後に向けて、徳之島一体となり鹿児島県主催の全共に、出場、入賞を目指し、計画ができないか。

広域的な選考を 要望

答 東農林水産課長
広域的な取組みについては、奄美群島農政推進協議会や県登録協会、県経済連に大島地区の出品牛の選考で徳之島における広域的な選考が認められるよう要望していきたい。

協議して進める

答 高岡町長
鹿児島県で5年後に、全国和牛能力共進会が開催される。是非徳之島の生産牛がグランプリをとることを目指すことにより、畜産の振興につながるもの

と考える。しっかりと担当課

と協議して進めていきたい。

産業ドローンの 今後は

問

様々な分野で活躍が期待される「ドローン」。現在の使用状況と、今後の課題は。

ICT関連は 今後重要である

答 高岡町長
ドローンについては、

航空法上の 規制がある

答 住田企画課長
航空法に飛行禁止区域や飛行方法が定められている。

農業散布、災害時の調査、測量分野等様々な分野で活用が見込まれる。また、当町が進めるICT関連の若年層へのプログラミング教育も含めて政策的に進めていきたい。



ドローンで楽しむ子ども達

次回の定例会は3月です

皆さんで議会を傍聴してみませんか。
手続きは簡単で、傍聴席入口の受付名簿に住所・氏名を記入していただくだけです。
詳しくは議会事務局までお問い合わせください。
☎ 82-1111 (内線331番)

学力向上には

何が大事か

宮之原 順子 議員



学校と家庭が一体となって

向井学校教育課長

問

子どもの教育や、人格形成に対し、最終的な責任を負うのは家庭。子どもの教育に対する責任を自覚することが大事だと思うが、保護者が家庭での教育力の向上を図るためには何が大事だと考えるか。

答

学力向上には、学校として、まずわかる授業の充実、や学習時間の確保、読書の充実が上げられる。また、家庭での基本的な生活習慣の確立、保護者の家庭学習を促す言葉かけ、良好な親子関係などが重要である。学校と家庭が一体となって取り組む必要がある。

不登校の原因と対策は

問

不登校に対してどのような対策をとっているのか伺う。子どもが発する危険信号を見逃さないで、親身に相談に乗ってほしい、言葉のいじめで心を傷つけられる人もいる。幼児期から親や先生地域の人達が、人権の事を話していく環境が大事だと考えるが。

複数の職員で対応

答

向井学校教育課長
不登校の原因については、家庭の事情による生活習慣の乱れ、教科の好き嫌い、複数の要因が絡んでいるものなど様々である。学校では一日休むと電話連絡、二日休むと家庭訪問、三日以上休むと複数の職員で対応を行っている状況である。

孫育て手帳の配布を

問

社会環境の変化に伴って育児方法が変化し不安を持つ祖父母も多い、育児に関する昔と今の違いについて、比較して紹介する冊子（孫育て手帳）を祖父母の方に配布できないか伺う。

県に要望を

答

芝健康増進課長
現時点では、孫育て手帳の作成・配布の計画は無いが、育児に関する新知識を祖父母世代に啓発することは有用。他県では県単位で作成しているところもあるので、今後県に要望していきたいと思う。

返礼品に係る収支は

行沢 弘栄 議員



職員の役割は

大きい

答

高岡町長

ふるさと納税者が11月末で1万人を突破、寄付額も2億2千500万円台と前年度を大きく上回る反響。4月から推進室応援係を設置し対応しているが、返礼品等（経費）に係る収支と今後の取り組みと課題について伺う。

本来の意味

忘れずに

答

住田企画課長

返礼品費として寄付額の54%を見込んでいる。ふるさと納税の本来の意味を忘れず、本町の活性化につながる使い道と返礼品を厳選していきたい。



啓発冊子
「いじめ」させない 見逃さない
人権啓発冊子



新設されたふるさと思いやり推進応援係

割引対象の
拡充を

問 航空運賃の割引制度を導入して、町民の皆様には離島割の特典があるが、島を離れ島外で生活する若い人達や本土に移住している方々にはその特典がない。割引対象を町出身者や来島者にまで拡充できないか伺う。

財源的な

課題がある

答 住田企画課長 島外からの入込客に向けて「奄美群島交流需要喚起対策特別事業」がある。離島割引利用状況は右肩上がりの傾向で県・市町村の負担金は年々増加しており、「割引対象拡充」については、財源的な課題もある。



議会の動き

- 7日 J・AIRジェット機就航歓迎交流会 (天城町)
- 12日 第5回徳之島町食と農林漁業の祭典
- 14日 徳之島地区戦没者慰霊祭及び懇親会
- 15日 東天城地区戦没者慰合同慰霊祭
- 17日 第34回徳之島町福祉スポーツ大会
- 20日 地方自治法施行70周年記念式典 (東京)
- 21日 離島振興市町村議会議長会 (東京)
- 22日 町村議会議長全国大会 (東京)
- 25日 奄美群島広域事務組合議会定例会及び市町村会合同懇親会 (喜界)
- 26日 母間ちゅつきゃい節祭り
- 27日 奄美群島振興開発総合調査に係る第2回県議、市町村長、議会議長意見交換会 (鹿児島)
- 12月 議会運営委員会
- 1日 議会定例会開会
- 6日 第4回定例会開会
- 11日 第4回定例会閉会
- 10月 第2回議会だより編集委員会
- 4日 第58回町民体育祭
- 8日 国営徳之島用水農業水利事業完工式
- 11日 全国地域安全運動出発式
- 16日 第3回議会だより編集委員会
- 25日 議会報告会「議員と語る会」(東区)
- 26日 議会報告会「議員と語る会」(山)
- 27日 議会報告会「議員と語る会」(諸田)
- 11月 平成29年度轟木親交会「総会」並びに「敬老慰安会」(大阪)
- 3日 屋内運動場建築工事の地鎮祭(総合運動公園)
- 5日 関西徳州会定期総会及び大運動会(尼崎市)
- 5日 宇検村村政施行100周年記念事業 (宇検村)

第2回議会報告会を開催しました

平成29年10月25日から 見交換会を行いました。27日にかけて町内3会場 3箇所です。合計66名と昨年で第2回議会報告会を開度より多くの方々に参加催しました。25日は東区 市民館、26日は山コミュなご意見を頂きました。ニティセンター、27日は 諸田公民館であり、冒頭 諸田公民館の使命と責任は、町民福祉の向上と町政発展に寄する」との福岡議長「議会の使命と責任は、町民福祉の向上と町政発展に寄する」との福岡議長「議会の使命と責任は、町民福祉の向上と町政発展に寄する」との福岡議長「議会の使命と責任は、町民福祉の向上と町政発展に寄する」との福岡議長



東区公民館での議会報告会

編集後記

新年おめでとうございます。昨年、皆さまにとつてどの様な一年だったでしょうか。

我が徳之島町においては、昨年の「ふるさと納税」が12月末現在で、約2億8,800万円、約1万3,600名の「ふるさと、地域」を応援したいとの想いが集まりました。これは企画課、関係者の努力によるものと思います。

地方交付税が地域の予算を支える中、「ふるさと納税」のあり方が問われています。

地域格差、人口減少が進む中、人を育てる仕組みづくりを地域で作っていく事は重要です。

昨年8月15日に亡くなられた鶴野将光議員の言葉に「みんな考えよう徳之島」との言葉がありました。11月に開催された議会報告会においても、大変多くの町民の皆様からのご意見をいただきました。開かれた議会を基本に今後とも町民の皆様のご指導を願います。編集後記とさせていただきます。

文責 松田 太志